

韓国における目録をめぐる 動向

国立情報学研究所
高橋 菜奈子
2010年10月23日
情報組織化研究グループ月例研究会

1

本日の内容

- ▶ 韓国における目録規則の概要・改訂動向
 - 韓国目録規則の変遷
 - 韓国目録規則第4版(KCR4)の概要
- ▶ 最近の目録規則を巡る動向
 - 韓国における目録法の研究動向
 - ISBD・新国際目録原則やFRBR/FRAD/FRSADなど国際的動きへの対応
 - 典拠コントロール, FRBR, RDA

2

韓国目録規則の変遷

▶▶ 目録規則の概要・改訂動向

3

東書編目法 1947

- ▶ 解放後最初の目録
- ▶ 朴奉石(国立図書館副館長)による編纂
- ▶ 書名基本記入方式
- ▶ 東書を対象
- ▶ 「目録規則」ではなく「編目法」

4

韓国目録規則(KCR1) 1964

- ▶ パリ原則(1961)の反映
- ▶ 東洋に特有の資料、韓国人著作への配慮
- ▶ 著者名基本記入
- ▶ 書名も基本記入として採択
- ▶ 標目の形式はハングルのみ、外国人名は翻字（姓名の間にカンマ）

5

韓国目録規則修正版(KCR2) 1966

- ▶ KCR1の修正版
- ▶ 基本原則には変更を加えない
- ▶ 付録として表記法・略語表・カード目録の実例を収録

6

韓国目録規則第3版(KCR3) 1983

- ▶ AACR2(1978)に準拠
- ▶ ISBD区切記号法(1974)の採用
- ▶ 東書だけでなく洋書にも適用できる
- ▶ 記述ユニットカード方式を採用
- ▶ 記述と標目を独立させ、記述・標目指示篇のみの刊行
- ▶ 標目篇・排列篇は刊行予定ながら、出版されず
 - 改訂版ではなく「新版」という評価

7

韓国目録規則第3版修正版(KCR3.1) 1990

- ▶ 第3版の誤字・脱字修正レベル
- ▶ 1989年～標目篇と排列法篇制定のための作業開
 - 印刷資料のみ対象の限界性
 - 機械可読目録への対応要請
 - → 第4版の制定へ
- ▶ 日本語に翻訳
 - 『韓国目録規則3.1版日本語訳：未定稿』 学術情報センター編集 学術情報センター，1990

8

韓国目録規則第4版(KCR4) 2003

- ▶ 現在の最新版
- ▶ 多様な資料種別への対応
 - 資料種別ごとの章構成
- ▶ 機械可読目録を意識した規則
 - 韓国文献自動化目録(KORMARC)記述規則の取り込み
 - 標目→アクセスポイント

9

年表	韓国	日本	備考
1947	東書編目法		
1952		日本目録規則	
1961			バリ原則
1964	韓国目録規則(KCR1)	バリ原則に対応	
1965		日本目録規則 1965年版	バリ原則に対応
1966	韓国目録規則修正版(KCR2)		
1967			AACR1
1974			ISBD
1977		日本目録規則新版予備版	記述ユニット方式
1978			AACR2
1983	韓国目録規則第3版(KCR3)	記述ユニット方式 ISBDに対応	
1987		日本目録規則1987年版	ISBDに対応 書誌構造の導入
1990	韓国目録規則第3版構成修正版(KCR3.1)		
1994		日本目録規則1987改訂版	
2001		日本目録規則1987改訂2版	電子資料
2003	韓国目録規則第4版(KCR4)	機械可読目録・多様な資料種別	
2006		日本目録規則 1987改訂3版	和古書・継続資料
2010			RDA

10

KCR4の概要

▶▶ 目録規則の概要・改訂動向

11

KCR4の制定過程

- ▶ 1996年 目録委員会で公式に KCR3.1の改訂が検討開始
- ▶ 1998年 記述対象資料別の章だて決定
- ▶ 2000年 全体の一貫性確保
- ▶ 2001年 草案段階での意見招請
 - 韓国情報管理学会2002年度第9回学術大会
- ▶ 2002年 最終案の作成
- ▶ 2003年 冊子体およびCD-ROMで刊行

12

KCR4の目次

- ▶ 構成
 - 総則
 - 記述総則
 - 資料種別ごとの構成
 - ・ 記述総則に符合
 - ・ X.3(資料特性に関する事項)のみ特殊な展開
 - 付録
- ▶ 別紙参考資料
 - KCR1～3は「韓国目録規則の構造と特質：日本における適用上の諸側面」(林・内藤)による
 - KCR4は高橋訳出

13

編纂報告に掲げられた特徴

- ▶ 「目録の機能」を提示
- ▶ 画像資料と映像資料の統合
- ▶ 標目のかわりにアクセスポイントという用語採用
- ▶ 責任表示の数の制限無し
- ▶ 基本標目を規定しない
 - 基本標目(Main heading):基本著録(main entry)に使用する標目
- ▶ 統一標目を適用しない
 - 統一標目(Uniform heading):著者や書名、主題名など複数の異なる形式で識別される場合にその中で特定の形式を選定して目録で一貫して用いる標目
- ▶ 用語解説を付加

14

KCR4の評価 (이창수 (Lee Chang-Soo)による整理)

- ▶ プラスの評価
 - 単行本だけでなく多様な資料種別を範囲とできる
 - 資料の特性を記述できる
 - 責任表示の制限を撤廃→アクセスポイントの確保がなされている
- ▶ マイナスの評価
 - 典拠に対する何の規定もないまま、アクセスポイントの選定と形式を典拠で行うこととした
 - 統一標目を適用せず、標目の一貫性も保障しない

15

典拠コントロール

▶▶ 最近の目録規則を巡る動向

16

PARK Hong-Seokによる 標目をめぐる議論の整理

- ▶ KCR4には「標目」概念なし
- ▶ 標目に対する2つの意見
 - 標目の選定法・表記法を定めるべき
 - 異なった標目表記をグループとする典拠ファイルでコントロールすべき
- ▶ →典拠コントロールの方法の変化の必要性

17

김태수(Kim Tae-Soo)による 標目不要論

- ▶ 目録の機能、検索においても、著作の集中化においても、基本標目ではなく副出標目の役割が大きい
 - ・ 検索時に利用者には基本標目が何かは不明
- ▶ 機械可読目録においてはアクセスポイントの拡大が望まれる
 - ・ 目録作成時の図書館員の省力化
- ▶ 著者名典拠コントロールのためのシステム実験
 - 標目間に優先順位をつけずにアクセスポイント群として管理
 - ISADN(International Standard Authority Data Number)を典拠の識別番号として採用
 - 書誌とのリンク

18

著者名典拠の運用状況

- ▶ KORMARCでは著者名典拠をAACR2に則って作成
- ▶ 大学図書館で典拠コントロールをしているのはソウル大学・延世大学など数大学のみ
 - ソウル大学は著者名典拠をAACR2に則ってKORMARC形式で作成
 - 延世とソウルではフィールドの拡張方式が異なる

表1

	ソウル国立大学	延世大学	梨花女子大学
フォーマット	KORMARC (国産専用) USMARC (国産)	KORMARC	独自のフォーマット
典拠コントロール	個人名、 団体名、 企業名、 統一番号	個人名、 団体名、 企業名、 統一番号	個人名、 団体名、 企業名、 統一番号、 シソーラス + 各種データのあり
項目	ハンダム	ハンダム	ハンダム
形式	個人名、団体名、 統一番号、 企業名	個人名、 団体名、 企業名、 統一番号	ハンダム

- ▶ KCR2に則って記述している図書館も多い？
- いずれも、典拠レコードの活用というよりは再検索

19

KORMARCとFRBR



最近の目録規則を巡る動向

20

KORMARCとは？ (KOREAN MACHINE READABLE CATALOGING)

- ▶ 韓国国立中央図書館作成の韓国全国書誌
 - 韓国の図書館での普及率は98%
- ▶ USMARCに準拠
 - サブフィールドの識別子で、韓国資料の書誌的特徴を考慮
- ▶ KORMARCの記述規則
 - 한국문헌자동화목록법기술규칙(『韓国文献自動化目録法記述規則単行本用予備ノート補完版』として日本語訳)
 - 現在はKCR4に対応
- ▶ <http://www.nl.go.kr/kormarc/index.html>

21

KORMARCとFRBRをめぐる研究動向

- ▶ 初期のFRBR の紹介
 - 2003年頃～
조재인 (Cho Jane), 이성숙(Lee Sung-Sook)ら
- ▶ 2006頃～FRBR をめぐる海外動向紹介
 - インターフェース評価
서은경(Seo Eun-Gyong): 欧米の検索・表示システムの比較・紹介
 - メタデータ設計に関する研究
- ▶ 2007頃～KORMARCのデータをサンプルとしたFRBR適用実験

22

KORMARCのデータをサンプルとしたFRBR適用実験

- ▶ FRBR Display toolの紹介
 - 조재인(Cho Jane)2004
 - LC/OCLCで開発
◦ <http://www.loc.gov/marc/marc-functional-analysis/tool.html>
 - 韓国では典拠コントロールなされていないことがネックになるという指摘
- ▶ LC/OCLCの開発したアルゴリズムとは異なる精緻なアルゴリズムが必要
 - 김정현(Kim Jeong-Hyen)2007
◦ 対象となるデータがどれくらいあるのかKORMARCの実態分析
 - 김현희(Kim Hyun-Hee)ほか2007
◦ KORMARCの音楽資料データで適用実験
 - 노지현(Rho Jee-Hyun)2008
◦ KORMARCにLCとOCLCの開発したフィールドと対照して修正アルゴリズムを作成し、適用実験

23

KORMARCのFRBR化における課題

- ▶ 既存のKORMARCレコードの問題
 - 「標目」の概念がないことから、一貫性が担保されていない
 - データの誤謬により、適用できない
 - 必要なデータが入力されていないため、適用できない
 → FRBR化を自動化する決定的なアルゴリズムはない
- ▶ ユーザーインターフェースの評価
 - 海外の動向を紹介する研究
 - 将来的には目録作成のためのインターフェースの開発が必要

24



RDAとは? (Resource Description and Access)

- ▶ AACR3→RDA
 - 英米目録規則AACR2の改訂版AACR3の策定途上でデジタル環境に適応した規則にすることとして名称変更
- ▶ 特徴
 - FRBRモデルの適用
 - AACR2からの継続性の担保
 - 第1部「資料の記述」、第2部「関連」、第3部「アクセスポイントのコントロール」からなるAACR2とは大幅に異なる構成
- ▶ 2010年6月23日からToolkit公開
 - RDA: Resource Description & Access Toolkit
<http://www.rdatoolkit.org/>

26

RDAをめぐる韓国の研究動向

- ▶ RDAを韓国で紹介する研究
 - 조재인(Cho Jane)2009
 - 박진희(Park Jin-Hee)2009
 - 이미화(Lee Mi-Hwa)2009
- ▶ KCR4とRDAを比較する研究
 - 박진희(Park Jin-Hee)2009
- ▶ KORMARCへ適用検討
 - 이미화(Lee Mi-Hwa)2009

27

조재인(Jane Cho)による 課題整理・問題提起

- ▶ RDA,FRBRとKCRの関係検討
- ▶ RDA適用評価の準備
- ▶ KORMARCに対する根本的な検討
- ▶ 典拠コントロールに対する実質的対策
- ▶ 新しい規則と原則に対して関連するコミュニティーへの理解向上と多角的支援
- ▶ 目録作成の経済性と活用性の向上
- ▶ 未来の書誌コントロールのための研究支援体系
- ▶ 目録の教育内容改善

28

実務界の動向

- ▶ 韓国図書館協会目録委員会の動向
 - 5名(所属は:研究者2, 図書館司書3)
 - 現在のところKCR4の課題整理中
- ▶ 韓国国立中央図書館の動向
 - 最近まで電子図書館システムがメイン課題
 - KORMARCのFRBR化の検討はこれから
 - 著者名典拠ファイル活用の検討もこれから

29



KCR4關係

- ▶ 『韓國目錄規則』韓國圖書館協會目錄委員會編 第4版. 韓國圖書館協會, 2003
- ▶ 『韓國目錄規則3.1版日本語訳: 未定稿』学術情報センター編集 学術情報センター, 1990
- ▶ 韓國目錄規則の構造と特質: 日本における適用上の諸側面 林昌夫, 内藤 衛亮 (学術情報センター紀要 4, 137-176, 1991) <http://ci.nii.ac.jp/naid/110000466614/>
- ▶ KCR4와 KCR3.1의 다행본과련 목록규칙에 관한 비교분석 (Comparative Analysis on the Cataloging Rules of the Monographic Publications in KCR4 & KCR3.1) 강미혜 (한국문헌정보학회지, Vol.38 No.3, [2004])
- ▶ 한국목록규칙 4판에 반영된 목록의 유용성 (An Analysis of Usability of the Catalogue in the KCR4) 이창수(Chang Soo Lee) (한국도서관정보학회지, Vol.36 No.3, [2005])

31

KCR4草案關係

- ▶ KCR 4판 초안 제5장 '악보'에 대한 분석(The analysis of the Chapter 5 'Music' in the draft of KCR4) 정재영 님태우 (韓國情報管理學會 學術大會論文集, Vol.9 No.-, [2002])
- ▶ KCR4판(초안)의 "정치화상자료" 목록규칙에 관한 분석: AACR2R, NCR를 중심으로(An Analysis on "Graphic Materials" Cataloging Rules in KCR 4th ed.(draft)) 님태우 박현영 (韓國情報管理學會 學術大會論文集, Vol.9 No.-, [2002])
- ▶ KCR 4판 초안 제1장 '기술총칙/에 관한 분석(The Analysis of the Chapter 1 'General Rules for Description' in the draft of KCR4) 김혜경 님태우 (韓國情報管理學會 學術大會論文集, Vol.9 No.-, [2002])
- ▶ 한국목록규칙 4판 초안의 고서목록규칙 분석(Analysis of Cataloguing Rules for Old books in KCR4 Draft) 오세훈 님태우 (韓國情報管理學會 學術大會論文集, Vol.9 No.-, [2002])
- ▶ 한국목록규칙 제4판 초안의 지도자료 목록규칙 분석(Analysis of Cataloguing Rules Cartographic Materials in KCR4 Draft) 황옥경 님태우 (韓國情報管理學會 學術大會論文集, Vol.9 No.-, [2002])
- ▶ 韓國目錄規則 4版(草案)에 대한 提言 (A Reform about the KCR 4th ed.(Draft)) 김자후 (한국도서관정보학회지, Vol.33 No.3, [2002])

32

典拠コントロール關係

- ▶ The Revision of the Cataloging Rule (KCR4) and Authority Control under the New Rule 目錄規則(KCR4)의改訂と新規則の下での権限コントロール PARK Hong-Sook (書誌 古書集) 日本語, 中国語, 韓国語の名称典拠ワークショップ記録3rd Workshop, March 14-18, 2002 <http://ci.nii.ac.jp/naid/110000466614/>
- ▶ Authority Files in the National Library of Korea 韓國國立中央圖書館의 典拠파일 構築狀況 LEE Jae-sun (書誌 未定稿) 日本語, 中国語, 韓国語の名称典拠ワークショップ記録3rd Workshop, March 14-18, 2002 <http://www.nli.ac.jp/publications/CK-WS/qk3-05b.pdf>
- ▶ 인명표준화를 위한 전기레코드작성기준에 대한 연구 (A Study on the Guideline of Authority Record for Heading Control of Personal Name) 정옥경 (Ok-Kyung Chung) (한국도서관정보학회지, Vol.32 No.3, [2001])
- ▶ 표준화를 위한 전기레코드작성방안에 대한 연구 (A Study on the Guideline of Authority Record for Heading Control) 정옥경(Ok-Kyung Chung) (한국도서관정보학회지, Vol.36 No.1, [2002])
- ▶ 표준의 기능에 관한 연구 (A Study on the Functions of Headings) 김태수(Kim Tae-Soo) (정보관리학회지, Vol.12 No.2, [1995])
- ▶ 목록규칙에 있어서의 표준부의 변천에 대한 연구 -한국목록규칙과 영미계목록규칙을 중심으로- (A Study on the Process of Changes of Headings in the Cataloging Rules) 정옥경(Ok-Kyung Chung) (한국도서관정보학회지, Vol.30 No.3, [1996])
- ▶ 전기레코드 표준의 구조화 연구 (A Study on the Structure of Headings in authority Records) 김태수(Kim Tae-Soo) (정보관리연구, vol.40, no.3 [2009])
- ▶ FRAD 개념 모형에 관한 연구(A Study on the FRAD/Functional Requirements for Authority Data) Conceptual Model) 안영희(Young-Hee Ahn) 이정숙 (韓國情報管理學會 學術大會論文集, Vol.2008 No.-, [2008])
- ▶ JFLA FRAD 모형의 관련 표준에 미친 영향 연구(A Study on the Effects of the FRAD Model on the Related Standards) 안영희(Young-Hee Ahn) 이정숙(Sung-Sook Lee) (정보관리학회지, Vol.26 No.1, [2009])

33

KORMARC關係

- ▶ KORMARC 開発から普及へ(1) 大和田孝志 カレントアウェアネスNo.199 1996.03.20 (CA1057) <http://current.ndl.go.jp/ca1057>
- ▶ KORMARC 開発から普及へ(2) 大和田孝志 カレントアウェアネスNo.200 1996.04.20 (CA1060) <http://current.ndl.go.jp/ca1060>
- ▶ FRBR 알고리즘 분석 및 KORMARC 데이터베이스 적용 방안(Study on the FRBR Algorithm and Application of KORMARC Database) 조재민(Cho, Jane) (한국문헌정보학회지, Vol.38 No.3, [2004])
- ▶ 한국어 서지레코드에 있어 FRBR 모형의 유용성에 관한 연구 (A Study on the Utility of FRBR Model in Korean Bibliographic Record) 김정현(Jeong-Hyeon Kim) (한국문헌정보학회지, Vol.41 No.4, [2007])
- ▶ FRBR 모형의 KORMARC 데이터베이스로의 적용 가능성에 대한 실험적 연구(An Experimental Study on the FRBR Model Adaptation to KORMARC Database) 김현희(Hyun-Hee Kim) 유영준(Yeong-Jun Yoo) 박서은(Suh-Eun Park) (한국도서관정보학회지, Vol.38 No.2, [2007])
- ▶ KORMARC 레코드에 대한 FRBR 모형의 적용 실험(An Application of FRBR Model to KORMARC Records) 노지현(Jee-Hyun Rho) (한국도서관정보학회지, Vol.39 No.2, [2008])

34

FRBR關係

- ▶ FRBR 모형의 서지적 관계에 관한 연구 김순희 이성숙 (사회과학연구, Vol.16 No.2, [2005])
- ▶ FRBR 실행을 위한 MARC 레코드 생성에 관한 연구 (A Study on Creation of MARC Record for FRBR Implementation) 이유허(You-Jeong Lee) (한국도서관정보학회지, Vol.38 No.1, [2007])
- ▶ FRBR 모형 기반 서지검색시스템의 검색 효율성 평가 연구(An Experimental Study on the Retrieval Efficiency of the FRBR Based Bibliographic Retrieval System) 김현희(Hyun-Hee Kim) (한국도서관정보학회지, Vol.38 No.3, [2007])
- ▶ A study on the application method of the Functional Requirements for Bibliographic Records (FRBR) to the Online Public Access Catalog (OPAC) in Korean libraries, Jane Cho (Library Collections, Acquisitions, and Technical Services 30(3-4), 2006)
- ▶ FRBR 모형의 적용 전략에 관한 연구 (A Study on the Application Strategies of the FRBR Model) 이성숙(Sung-Sook Lee) (한국문헌정보학회지, Vol.40 No.3, [2006])
- ▶ FRBR 모형에 기반한 서지정보 인터페이스 개발에 관한 연구 (A Study on the Development of Bibliographic interface Based on the FRBR Model) 서은경(EunGyong Seo) (정보관리학회지, Vol.23 No.4, [2006])

35

RDA關係

- ▶ RDA 구현 시나리오와 서지 제어의 장래에 대한 고찰(A Study for RDA Implementation Scenarios and Future Bibliographic Control) 조재민(Jane Cho) (한국문헌정보학회지, Vol.43 No.3, [2009])
- ▶ RDA의 제정동향 및 내용구조에 관한 연구(A Study on Movements to Establish RDA and Its Contents Structure) 박지현(Jin-Hee Park) (한국도서관정보학회지, Vol.40 No.1, [2009])
- ▶ RDA와 KCR4의 기술규칙 분석에 관한 연구(Comparative Analysis on Descriptive Rules of RDA and KCR4) 박지현(Jin-Hee Park) (한국도서관정보학회지, Vol.40 No.2, [2009])
- ▶ MARC 데이터의 RDA 저작 및 표현형 요소 분석을 통한 한국목록규칙 및 KORMARC의 고려사항(A Study on Suggestion for KCR and KORMARC by Analyzing Work and Expression Element of RDA in MARC) 이미화(Mi-Hwa Lee) (한국도서관정보학회지, Vol.41 No.2, [2010])

36

韓国目録規則第4版目次

第0章 総則

- 0.1 目的
- 0.1.1 適用範囲
- 0.2 対象資料
- 0.3 目録の機能
- 0.4 目録の種類と構成
- 0.4.1 目録の種類
- 0.4.2 目録の構成要素
- 0.5 著録と参照
- 0.5.1 著録
- 0.5.2 参照
- 0.6 MARC レコード
- 0.7 記述とアクセスポイントの機能
- 0.7.1 記述
- 0.7.2 アクセスポイント

第1章 記述総則

- 1.0 総則
- 1.0.1 記述の範囲
- 1.0.2 記述の対象
- 1.0.3 記述の情報源
- 1.0.4 記述構造と要素の記述順序
- 1.0.5 記述方法
- 1.1 標題と責任表示に関する事項
- 1.1.0 総則
- 1.1.1 本標題
- 1.1.2 資料種別
- 1.1.3 並列標題
- 1.1.4 標題関連情報
- 1.1.4 巻次, 回次, 年次表示
- 1.1.5 責任表示
- 1.2 版に関する事項
- 1.2.0 総則
- 1.2.1 版表示
- 1.2.2 特定の版の責任表示

- 1.2.3 付加的版表示
- 1.2.4 付加的版の責任表示
- 1.3 資料特性に関する事項
- 1.3.0 総則
- 1.3.1 記述の範囲
- 1.3.2 記述方法
- 1.3.3 複数の特性
- 1.4 発行に関する事項
- 1.4.0 総則
- 1.4.1 発行地, 頒布地
- 1.4.2 発行所, 頒布所
- 1.4.3 発行年, 頒布年
- 1.4.4 製作事項
- 1.5 形態に関する事項
- 1.5.0 総則
- 1.5.1 特定資料種別と資料の数量
- 1.5.2 その他の形態事項
- 1.5.3 大きさ
- 1.5.4 付属資料
- 1.6 叢書に関する事項
- 1.6.0 総則
- 1.6.1 叢書の本標題
- 1.6.2 叢書の並列標題
- 1.6.3 叢書の標題関連情報
- 1.6.4 叢書の責任表示
- 1.6.5 叢書の ISSN
- 1.6.6 叢書の巻号
- 1.6.7 下位の叢書
- 1.7 注記に関する事項
- 1.7.0 総則
- 1.7.1 注記の範囲
- 1.7.2 記述方法
- 1.7.3 注記の種類と記載順序
- 1.8 標準番号および入手条件に関する事項
- 1.8.0 総則

- 1.8.1 標準番号
- 1.8.2 登録標題
- 1.8.3 入手条件表示

第 2 章以降は基本的には第 1 章と同じ構成。

X. 3 が異なる場合だけ以下に記載する。

第 2 章 単行本

第 3 章 地図資料

第 4 章 古書と古文書

第 5 章 楽譜

5.3 楽譜の種類に関する事項

5.3.0 総則

5.3.1 楽譜の種類表示

第 6 章 録音資料

第 7 章 画像資料と映像資料

第 8 章 電子資料

8.3 資料の特性に関する事項

8.3.0 総則

8.3.1 記述の範囲

8.3.2 記述方法

第 9 章 立体資料（実物）

9.3 縮小および拡大比率に関する事項

9.3.0 総則

9.3.1 縮小・拡大比率表示

第 10 章 マイクロ資料

第 11 章 逐次刊行物

11.3 巻号次，年月次に関する事項

11.3.0 総則

11.3.1 巻号次表示

11.3.2 年月次表示

11.3.3 その他の巻号次，年月次表示

第 12 章 点字資料

付録 1 略語一覧

付録 2 用語解説

付録 3 国名形式

付録 4 言語コード表